**青字は注釈・例示等を示しています。**

**提出時は、青字・吹き出し等は全て削除してください。**

（報告様式2-1）

＜課題番号＞

**研究成果展開事業　大学発新産業創出プログラム**

**社会還元加速プログラム（SCORE）**

**完了報告書**

**「研究開発課題名（プロジェクト名）」**

**提出時、青字の説明書きは全て削除願います。**

平成　　年　　月　　日

【研究代表者】

所属：○○大学

氏名：　□□　□□

**１．研究開発課題の名称　等**

|  |  |
| --- | --- |
| 研究開発課題名： | プロジェクトの名称を記載してください。 |
| 研究代表者（所属・役職・氏名） | 例）　○○大学　〇〇研究科　准教授　〇〇　〇〇 |
| ＥＬ（所属・役職・氏名） |  |
| 委託研究開発費： | ○○大学　　○，○○○，○○○円(注：全研究開発期間の実績合計額をご記入下さい。) |
| 研究開発実施期間： | 平成 年 月 日～平成 年 月 日(注：契約書に記載の研究開発期間をご記入下さい。) |

**２．ビジネスモデル仮説検証の目的**

　３００字程度で簡潔にまとめてください。

**３．ビジネスモデル仮説検証の概要（全研究開発実施期間）**

本プロジェクトでの活動全体について、目標、実施内容、達成度などを簡潔にまとめてください。

※本項目についてのみ、図表掲載は不可で、文字のみ３００字程度でお願いします。

※機種依存文字の使用は避けてください

**４．活動内容と成果（全研究開発実施期間）**

４－１．　当初のビジネスモデル

申請書「４．ビジネスモデル仮説の概要」や全体計画書の「Ⅲ．顧客と課題・ユーザーストーリー」の内容等を踏まえて、簡潔にまとめてください。

４－２．　活動内容　※Demo Day後の活動があればそれも記載願います。

①技術検証

実施した技術検証の内容を簡潔にまとめてください。

②ビジネスモデル仮説の検証

ビジネスモデルのブラッシュアップのために実際に行った活動内容について、図、表、写真、特筆すべきデータ等を多用してわかりやすく記載してください。

４－３．　活動によって明らかになったこと

４－２．活動内容　①②で最終的に明らかになった事項を、箇条書き等でわかりやすくまとめて記載してください。

①技術検証で明らかになったこと

・○○○○・・

②ビジネスモデル仮説の検証で明らかになったこと

・○○○○・・

４－４．　最終的なビジネスモデル（成果）

①最終的なユーザの課題（Ｐａｉｎ）とその解決方法としてのプロダクト・サービス

４－１のビジネスモデル仮説検証活動を行った結果として、最終的に「どんなユーザの」「どのような課題（pain）を」「技術シーズの優位性を生かしてどのように」解決することになったのか、具体例を含めて記載してください。Demo Day冊子に記載した「解決のためのプロダクト・サービス」も参考にしてください。

②最終的なビジネスの構造

マネタイズの方法や連携パートナーなど関連する組織を含めて図を記載し、その図の説明を文章で補足してください。Demo Day冊子に記載した「ビジネス構造に関する図」も参考にしてください。

③現時点における競合ビジネスやサービスとの比較

　表などにまとめわかりやすく記載し、内容について説明を追加してください。

　（※「競合技術はなく、比較はできない」などではなく、直接比較できない場合でも、ユーザにとってのサービスやビジネスとして競合となり得るものと比較し、今回提案するビジネスモデルやサービスが提供する独創性、優位性を明記して説明）

※表にまとめる場合の例

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 価格 | 機能性 | 品質 | ユーザビリティ | 新規性 | ターゲット市場・ユーザ等 |
| 競合A | × | ○ | △ | ○ | △ |  |
| 競合B | ○ | △ | × | × | × |  |
| 本ソリューション・サービス | ○ | ○ | △ | ○ | ○ |  |

４－５　チームアップ・人脈作り

①チームアップ

SCOREのプログラムを通じて事業化に必要な役割（研究開発以外）を担える中核人材をどのように獲得または育成しようとし、結果としてどういうチームアップができたか（もしくはチームアップのためのプランができたか）を記載してください。

②人脈作り

事業化に必要もしくは具体的につながる人脈・ネットワークを獲得するための活動の内容と、その成果を記載してください。

４－６.　Demo Day

当日の成果（来場者の反応やコメント、名刺交換や商談があった会社の件数など）を記載してください。

**５.　事業化に対する意識が活動を通してどのように変化したか**

SCOREの活動を通して研究代表者・チームメンバーが得た、「新たな気づきや視点」「事業化に対する意識の変化」について具体的に記載してください

**６．成果一覧（知的財産権等、予定を含む）**

本プログラムの成果として得た知的財産権等があれば記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 知的財産権 | | | | |
| No. | 特許等の名称※他技術との優位性を明記してください | 出願番号 | 出願人 | 発明者 |
|  |  |  |  |  |

　補足情報：

学会発表、新聞・雑誌記事等での成果がある場合は、補足情報に記載してください。

　　　学会発表（タイトル、学会名、日付、発表者）

　　　新聞・雑誌記事（新聞・雑誌名、日付・掲載面）

**７．今後の事業開発の展開**

７－１．　今後の事業化・事業開発の進め方

下記A～Eの□に該当するものにチェックし、その計画について、どのように進めていくのか具体的に記載してください。

Ａ．　START　プロジェクト支援型へ応募する

□Ａ－１　2019年度に応募予定

□Ａ－２　2020年度以降に応募予定

Ｂ．　STARTプロジェクト支援型に応募せず、自力で起業を目指す

□Ｂ－１　起業した、もしくは起業の目途が立っている

□Ｂ－２　起業に向けた活動を行っている、もしくは今後行う予定

Ｃ．　他の支援プログラムへの応募　（具体的なプログラム名と内容をご記入ください）

□Ｃ－１　他の事業化支援プログラムへの応募を目指す

□Ｃ－２　他の事業化以外のプログラムへの応募を目指す

（プログラム名：

内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

Ｄ．　企業等への技術移転や共同研究等により、技術シーズの事業化を進める

□Ｄ－１　技術移転や共同研究が開始もしくは完了している

□Ｄ－２　技術移転や共同研究の開始に向けた活動を行っている、もしくは今後行う予定である

（内容：　　（さしつかえのない範囲で具体的にご記載ください）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

□Ｅ．上記Ａ～Ｄの技術シーズの事業化に向けた活動を今後行う予定はない

□Ｆ．上記以外の進め方

（内容：　　（さしつかえのない範囲で具体的にご記載ください）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

７－２．　課題と今後の具体的なアクション

　「７－１．の今後の進め方」の中で、①何が課題であり、②具体的に「何を、いつごろまでに、どのように進めるのか」を記載してください。

**８．プロジェクトに対するの自己評価と総評**

プロジェクトに対する自らの活動内容や取り組む姿勢などについての自己評価を記載してください。